

農協共済指定医について

富山県担当特別指定医 北川 鉄人

厚生連病院内科に勤務より離れて富山で開院してから14年がすぎた。このたび、前任者の今堀肇先生のあとを引き継いで、全国共済富山県担当医を引き受けることとなった。人間の生命と、それを守る保険(共済)の仕組みに以前より興味もあった。また、自分の病院が農協ビルに近いので多忙な診療のあい間に、その道のりがよい散歩道としても役立ってい

る。富山県では、私共の大先輩の先生方が長年にわたりそれぞれ共済に担当なさっておられる。日本国経済における農協の共済の立場が少しずつわかりかけて来たこの頃である。医師の立場よりみると共済は生命の守り神であり経済に見合ったものを選ぶべきものであろうかと思う。

研 究 会 雑 感

富山県厚生連本所健康管理課 轡 田 善 彦

富山県農村医学研究会が富山の農協会館で開催されるので土曜日で大変だろうが出席してもらえないだろうか？と総会が開催される度に病院の事務長がたのみに来たものだ、実際に総会の度に両病院に動員命令が出され員数合せが行われた。こゝ数年多少はその傾向はあるもの、病院以外の会員の出席が増加し会場は満席のこともある。研究会の研究内容の充実と理事の諸先生方の特別の魅力があるとの双方が作用しているようだ。

2, 3年前から農村医学研究並びに健康管理活動発表会が年に一回開催され研究会誌での紙面発表以外にも発表の機会が出来たことにも原因があるように思われる。

兼業率97%と富山県農村の農業環境が変わっても根流は農業県で農村に於ける色々な問題が山積されている。農村に於ける高齢化社会の問題をはじめ、農業機械、農薬などに加えて成人病全体の問題の究明など富山県農村医学研究会によせられる期待が増大している。